

赤十字ほっかいどう

もっと伝えたい。北海道の赤十字のこと。



9月に札幌ドームで行われたイベント「ハッピーママフェスタサッポロ」で、
たくさん子どもたちが心肺蘇生やAEDの使い方を体験しました。
イベントが行われた9月10日(土)は応急手当を世界中で広める「ワールド・
ファーストエイド・デー」。
親子で救急法に触れ、命を救う活動が広がっていくことを願っています。

CONTENTS

大雨災害 赤十字の力を結集……………2
災害に備えた準備できていますか……………3
お祭りで赤十字PR……………4
2本のポールでいきいきと……………5

青少年赤十字トレーニングセンター……………6
わがまちの赤十字奉仕団(留萌市)……………7
赤十字の看護師をめざしませんか……………8

激甚 大雨災害 赤十字の力を結集

観測史上初となる3台風の上陸や大雨により、北海道内各地では浸水被害や土砂災害が発生し、多くの方が不自由で不安な日々を過ごしました。

赤十字では、「困っている人を救いたい」という思いを結集し、すぐに救援物資の緊急輸送や避難者へのケアを実施しました。

【9市町村に救援物資を緊急輸送】

赤十字では、日頃から毛布や日用品のセットなどを各市町村に備蓄していますが、避難者が多数出た市町村からの要望に応え、南富良野町など9市町村に救援物資の追加緊急輸送を行いました。

【避難所をまわり健康調査】

新得町、清水町では、清水赤十字病院の医師や看護師が、避難所を定期的に巡回し、血圧測定などの健康調査を行いました。

【こころのケア】

浸水被害の大きかった南富良野町、新得町、清水町では、不自由な生活が長期化したため、避難者や復興支援にあたる役場職員のストレスが大きくなりました。

そこで、全道の赤十字病院から専門のスタッフを派遣し、健康チェックや身近な悩みなどを聞きながらストレスを緩和する「こころのケア」を行いました。

【赤十字ボランティアが活躍】

南富良野町、占冠村、上富良野町赤十字奉仕団では、南富良野町内でおにぎりやカレーライスなどの炊出し、泥で汚れた家屋や家具の清掃を行いました。

【道内初! 段ボールベッド導入】

日本赤十字北海道看護大学では、大学に常備の段ボールベッド20セットを、新得町の避難所に届けました。

段ボールベッドは、エコノミークラス症候群の予防などに効果的で、寒冷地防災学を専門とする同大学の根本教授と学生4名が町を訪れ、町の職員に組み立て方などを指導しました。

道内の災害で段ボールベッドが使用された初めての事例となりました。



毛布などを緊急輸送



避難所を回ってのこころのケア活動



道内の災害で初めて使用された段ボールベッド

義援金へのご協力ありがとうございました

「平成28年8月20日からの大雨(台風9・10・11号等)災害義援金」へたくさんのご協力をいただきありがとうございました。

お預かりした義援金は、北海道、日本赤十字社北海道支部、北海道共同募金会、各報道機関等で構成される「義援金配分委員会(事務局：北海道)」に集約し、被災市町村を通じて、全額を被災された方々にお届けします。

[受付額]

6,829万1,119円(平成28年9月28日現在)



札幌地下街での街頭募金

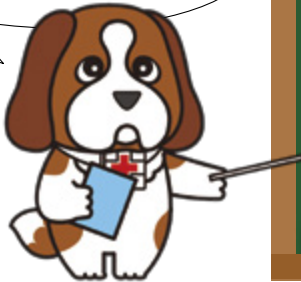
災害に備えた準備 できていますか？

災害はいつ自分の身に降りかかるかわかりません。

「他人ごと」「いつかやろう」と思わず、チェックリストを参考に準備をしておきましょう。

<p>現金</p> <input type="checkbox"/> 現金 (小銭をふくむ) ※公衆電話用に10円玉、100円玉	<p>食料</p> <input type="checkbox"/> 非常食	<p>貴重品</p> <input type="checkbox"/> 飲料水	<p>防災用品</p> <input type="checkbox"/> マッチライター
<p>印鑑</p> <p>※以下の2つは、現物を持ち出せなかった場合に備えて、コピーを入れておく。</p> <input type="checkbox"/> 健康保険証	<p>ヘルメット</p> <input type="checkbox"/> 懐中電灯 (予備電池をふくむ)	<p>雨具 (レインコート、長靴など)</p> <input type="checkbox"/> 簡易トイレ	<p>救急セット</p> <input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬
<p>身分を証明できるもの (学生証、パスポートなど)</p> <input type="checkbox"/> 予備の眼鏡	<p>笛やブザー (音を出して居場所を知らせるもの)</p> <input type="checkbox"/> 万能ナイフ	<p>タオル</p> <input type="checkbox"/> トイレットペーパー	<p>着替え (下着をふくむ)</p> <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ
<p>携帯電話 (充電器をふくむ)</p> <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (予備電池をふくむ)	<p>使い捨てカイロ</p> <input type="checkbox"/> マスク	<p>着替え (下着をふくむ)</p> <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<p>生理用品</p> <input type="checkbox"/> 歯みがきセット
<p>家族の写真 (はぐれた時の確認用)</p> <input type="checkbox"/> 家族との災害時の取り決めメモ	<p>ビニール袋</p> <input type="checkbox"/> アルミ製保護シート	<p>軍手</p> <input type="checkbox"/> 歯みがきセット	
<p>筆記用具</p> <input type="checkbox"/> 筆記用具	<p>毛布</p> <input type="checkbox"/> スリッパ	<p>軍手</p> <input type="checkbox"/> 軍手	

このほか、自分に必要なものはなにか考えてみましょう



ポイント

- ・優先順位を決める
- ・持ち出すものはコンパクトにまとめる
- ・定期的 (防災の日など) に内容をチェックする

— 赤十字でお配りする日用品のセット —

赤十字では、災害で避難されている方のために、タオルや歯ブラシ、ラジオなど日用品をコンパクトにまとめたセットを市町村に備蓄、配布しています。



【セットに含まれるもの】

タオル・ウェットティッシュ・ポケットティッシュ・軍手・ゴム手袋・ビニール袋・スプーン・フォーク・物干しロープ・洗濯バサミ・絆創膏・弾力包帯・ガーゼ・マスク・歯ブラシ・毛抜き・風呂敷・携帯ラジオ・懐中電灯・鉛筆・メモ用紙

救急法をもっとたくさんの方に知ってほしい ワールド・ファーストエイド・デー

世界中の多くの人にFirst Aid(救急法)を知ってもらうため、赤十字では毎年9月の第2土曜日をワールド・ファーストエイド・デーと定め、さまざまなイベントを行っています。

道内でも、札幌や帯広など11市でAEDの使い方を始めとした救急法の啓発イベントが行われました。



AEDの使い方覚えたよ

防災グッズを取り扱うDCMホームマックが、「お客さまにもっと防災を考えてもらおう」と、今年初めて企画した防災イベントで、赤十字はAEDの使い方が学べるコーナーを実施しました。

心肺蘇生の人形を見て「これやりたい!」と近づいてきた子どもたちは、赤十字ボランティアから心肺蘇生とAEDの使い方を教わり、元気よく胸骨圧迫やAEDを操作。「楽しかった〜」と満面の笑みを浮かべていました。



たくさんの方に知ってほしい お祭りで赤十字PR

お祭りでにぎわう7月・8月。地元の方々にもっと赤十字の活動を知っていただこうと、各地のお祭りで赤十字ボランティアがパンフレットの配布や募金、炊出しなどを行いました。



上砂川町



比布町



釧路市



紋別市



上富良野町



上川町

2本のポールでいきいきと ～健康増進セミナー～

年をとっても自分の足でしっかり歩き、健康で暮らすために、ノルディックウォーキングによる健康増進セミナーが札幌で開かれました。

ノルディックウォーキングは2本のポールを使って歩く運動で、自然と背筋が伸び、正しい姿勢で歩くことができます。

時おり雨が降る天気でしたが、参加した26名は体力に合わせて4つのグループに分かれ、ストレッチやウォーキングを楽しみました。

「朝のウォーキングで試したい」「膝や腰の悪い人に教えたい」など、参加者は体を動かす喜びを感じ、笑顔で会場を後にしていました。



会話も弾み心も体もリフレッシュ

30年目の博愛号 20年目の寄贈

災害発生時に毛布などの救援物資の運搬や避難所間の情報伝達などで活躍する車両「博愛号」が道内10市町村に配備され、引渡し式が行われました。

支部では30年前から毎年道内市町村に配備を進め、今年度の10台を含めて163市町村に253台が配備されています。

また、今回配備される10台のうちの1台は、よつ葉乳業株式会社様より寄贈いただきました。同社では20年前から毎年博愛号の寄贈を続けており、今年で27台目となりました。

【今年配備された市町村】

士別市、月形町、留寿都村、蘭越町、七飯町、比布町、礼文町、遠軽町、大樹町、標茶町



ゴールドキーを手渡すよつ葉乳業(株)様(右)

平和への願いを込めて

太平洋戦争末期の昭和20年7月、伊達市を襲った空襲で、伊達赤十字病院の看護師と患者計4名が命を落としました。

病院では、敷地内に慰霊碑を建立し、毎年慰霊祭が行われています。

空襲から71年経った今年の慰霊祭では、犠牲となった看護師岩崎妙子さんの甥の岩崎輝也さんが、妙子さんの肖像画を病院に寄贈しました。

看護師になったばかりで命を落とした妙子さん。その肖像画には平和への強い願いが込められています。



肖像画を武智院長に手渡す岩崎輝也さん(左)

気づき、考え、実行する ～青少年赤十字トレーニングセンター～

体験学習をととして、「相手を思いやる心」を養うため、青少年赤十字のトレーニング・センター(通称：トレセン)が札幌市や函館市など道内4ヵ所で行われ、計121名の児童・生徒が参加しました。

AEDやけがの手当てなどの体験、炊飯用の特殊な袋(ハイゼックス)を使っての炊出し、車イスを押す人・乗る人それぞれの気持ちを考える体験など、学校生活ではできない体験に目を輝かせて取り組みました。

初めは緊張していた子どもたちでしたが、体験が始まるとすぐに仲良くなり、楽しみながら赤十字のこと、チームワークの大切さを学びました。



救急法を体験(道南)



炊出し体験(道東)



自分たちの活動を紹介しあう(道北)



車イス介助体験(道央)

道新ボランティア奨励賞を受賞 ～恵庭市点訳赤十字奉仕団～

目の不自由な方々のために新聞や本などを点字に翻訳している恵庭市点訳赤十字奉仕団が、「第40回道新ボランティア奨励賞」を受賞しました。

昭和54年に発足し、現在16名が活動している同奉仕団。翻訳作業は団員が自宅で行い、週1回の例会で間違いがないかをお互いに確認します。

昨年は、小学校からの依頼で国語と算数のドリルを点訳。特に算数は図やイラストが多く、わかりやすく点訳するため団員みんなで試行錯誤しました。

尾崎委員長は「受賞は思いもよらなかったもので、みんなで喜んでいます。点訳を楽しみにしてくれている方々のために今後もがんばりたい」と笑顔で話してくれました。



点訳を確認する団員

わがまちの赤十字奉仕団

～留萌市赤十字奉仕団～

地域に根ざしたさまざまな活動をしている赤十字奉仕団。その中からいくつかの奉仕団の取り組みをご紹介します。

留萌市赤十字奉仕団は平成26年に創立60年を迎えたところです。

年間の主な活動としては、特別養護老人ホームでの入浴手洗い・清掃・清拭布作りの奉仕をしています。また、毎月1回NPO法人かもめ作業所のウエス作りなどの協力をしながら、障害者とのふれあいを大切にしています。市や関係団体開催の行事としては、緑の羽根募金、ピンクリボン乳がん予防街頭啓発運動、ふれあいピアパーティの協力、障害者団体主催による「ふれあい広場」などへの協力参加、留萌市民防災訓練では炊き出し訓練も体験しており、様々な奉仕経験をさせていただいています。この他、救急や防犯・介護などの奉仕活動に役立つ自主研修会を毎年3月に開催し、団員のコミュニケーションを図りながら協力体制を強化しています。

毎年10月の例会からはアンリーのマスコット人形作りを開始し、各小学校の新1年生へプレゼントしています。今年度の留萌市の新1年生は133名でした。愛情込めて作成した世界で一つしかない可愛い「アンリーちゃん人形」をプレゼントしました。キラキラとした1年生の笑顔を受けて、奉仕団員一同また連帯感が深まりました。

委員長 珍田 亮子



炊出し訓練



清掃活動

たくさんのご協力ありがとうございました。

～活動資金にご協力いただき、表彰された方々を紹介します～ (敬称略)

金色有功章

～社資納入額50万円以上～

【札幌市】 山内 雄司
 【函館市】 岩崎 義則
 【函館市】 平澤 鉄美
 【深川市】 大西 孝子
 【深川市】 臼杵 義光
 【深川市】 山脇 一範
 【旭川赤十字病院】 小林 裕記

銀色有功章

～社資納入額20万円以上～

【釧路市】 大同工業(株)
 【釧路市】 (株)タツミ企画
 【釧路市】 阿寒バス(株)
 【釧路市】 大栄商事(株)
 【釧路市】 医療法人社団 悟啓会 なかざわ医院
 【釧路市】 (株)本田組
 【根室市】 佐藤 俊彦
 【支部】 橋田 末子

社長感謝状

～金色有功章受章後さらに50万円以上～

【小樽市】 (有)てらにし調剤薬局
 【帯広市】 医療法人社団 高木皮膚科診療所 理事長 高木 章好
 【根室市】 杉山 忠夫
 【支部】 中村 裕貴
 【支部】 (株)ソルハホールディングス

苦しんでいる人を救いたい

～12月はNHK海外たすけあい～

テレビなどで目にする中東シリアの紛争、そして難民。南スーダンやウクライナなど紛争による難民が世界には6,500万人もいます。

どこか遠い国の話とってしまいますが、周辺諸国を巻き込み、世界の政治や経済にも影響する大きな問題となっています。

日本赤十字社では、これら紛争犠牲者を始め地震などの自然災害で苦しむ世界の人々に手を差し伸べる活動として、33年前から毎年12月に「NHK海外たすけあい」キャンペーンを行っています。

今年も12月1日から25日までの期間にキャンペーンを行いますので、募金へのご協力をよろしくお願いします。

【募金の受付窓口】

郵便局窓口からの振込、NHK各放送局、日赤北海道支部、各市町村の赤十字窓口、JAバンクの各窓口、JFマリンバンクの各窓口



©Zsofia Palyi/Hungarian Red Cross

難民に衛生用品を手渡すハンガリー赤十字社のスタッフ

赤十字の看護師を目指しませんか

道内の赤十字看護専門学校、赤十字看護大学では平成29年度の学生を募集します。

熊本地震災害や大雨災害など、確かな看護技術と「困っている人を助きたい」という思いを胸に、国内外で多くの卒業生が活躍しています。

■伊達赤十字看護専門学校

募集人数	30名	
願書受付期間	平成28年12月5日(月)～平成29年1月6日(金)	
試験日(学科)	平成29年1月19日(木)	
試験日(面接)	平成29年1月20日(金)	

■浦河赤十字看護専門学校

募集人数	30名	
	前期	後期
願書受付期間	平成29年1月4日(水)～13日(金)	平成29年2月13日(月)～24日(金)
試験日(学科)	平成29年1月19日(木)	平成29年3月2日(木)
試験日(面接)	平成29年1月20日(金)	平成29年3月3日(金)

※前期で定員に達した場合、後期募集はありません。

■日本赤十字北海道看護大学(北見市)

一般入学試験	前期	後期
募集人数	35名	15名
願書受付期間	平成29年1月4日(水)～20日(金)	平成29年2月13日(月)～24日(金)
試験日	平成29年2月4日(土)	平成29年3月4日(土)

- ・一般入学試験(前期)の試験会場は、北見、釧路、帯広、旭川、札幌、函館、東京があります。
- ・推薦入試、大学入試センター試験利用入試、社会人学士等入試もあります。



発行日 平成28年10月7日

発行元



札幌市中央区北1条西5丁目
Tel : 011-231-7126



公式フェイスブックで情報発信中!

<https://www.facebook.com/hokkaido.jrc>



ホームページで

日赤北海道

検索

www.hokkaido.jrc.or.jp/